

緑の風 NEWS

JR東労組



JR東労組ホームページ

East Japan Railway Workers' Union 2025年 6月 6日 No.109

ジェイアールバス関東本部 ジェイアールバス東北本部 ステーションサービス協議会

夏季手当交渉中!

第202号 Super Highway
発行日 2025. 5.29 JR東労組バス関東本部

2025夏季手当満額回答! 組織強化・拡大!

申13号 2025年度夏季手当等に関する申し入れ

第1回団体交渉開催! ①

5月29日10時より、本社会議室において申13号の建旨説明を行いました。

2.8ヵ月、満額回答を強く求める!

最新情報 (要旨)

- 2024年度決算では、運送収入は103億5,500万円、営業収入は119億1,100万円、営業損益は5億6,500万円と好調な決算を達成しております。
- コロナ禍前の2019年に迫る収支であり、営業利益率は対2019年で0.3%差まで迫っており、確実に回復している。
- 常態化する要員不足による休日出勤や、需要が旺盛な路線に対応するための臨時使の運行・他支店への助勤等を担ってきた。さらに、少ない社員数で多くの収益を確保し赤字経営を続けるべく日々奮闘し、着実に赤字体質に転じてきている。
- 努力が数字として表れているのだから満額回答で応えるべき。
- 組合員・社員の方々に働く経営姿勢を示すとともに、働き手に対する責任を伴い、人材流出に歯止めをかけ、人材を確保し定着させるべき。

JRバス関東で働く仲間を一つに!

ジェイアールバス東北本部 第32号 2025年5月30日

申0号「2025年度夏季手当に関する申し入れ」について建旨説明を行う!

ジェイアールバス東北本部は、2025年5月30日、申0号「2025年度夏季手当等に関する申し入れ」について建旨説明を行いました。主な議論内容は以下の通りです。

【組合】

- 2024年度決算は、需要回復における多様な輸送改善と積極的な営業施策や、様々な業務改革やコスト削減などの取り組みにより、前年を上回る増収4千300万円の増収利益を確保し、3連増収の数字決算となった。
- この増収利益の大半が労組に対する経営姿勢を支持しているのは、組合員・社員が厳しい業務体質の中でも、会社業務に協力し、職場で日々奮闘してきた努力の賜物である。
- 組合員・社員の生活実態については2025春闘において6,500円という、過去最大のベースアップが実施されたが、物価の高止まりやあつちあつちの公共料金の値上げ、4月からの社会保険料などの増額によって、日常生活が厳しいという苦境な状況である。
- 労働実態については、現場管理者のバス運転業務や本社管理者でも現場へ出勤しバス運転業務をするなどのほか、組合員・社員は休日出勤や助勤、転勤という形で日々絶え間ない努力をしながら会社の健全経営の維持・存続に最大限に貢献してきた。
- 3連増収の数字決算となったことについて、職場では生活給の一部となっている夏季手当の支給に期待している。
- 会社の数字経営の維持と継続のためには、これ以上の人材流出を防ぐなければならない。コロナ禍や要員不足という苦しい状況下でも残った、残りたいと思えるような働き手である会社とするため、最大限の人への投資が必要である。

【会社】

- 会社としては出せるものは出しているという考えに変わりはない。
- 社員に選んでいる考えであるが、いくらでも出せるわけではなく限度がある。
- 正確なところ、07月からはなかなか厳しい。他の会社を気にしているわけではないが、あれだけ収入があるJR東日本本社と比較して、07月でも、また、JRバス東北を見ても今より収入があったコロナ以前にも3、07月に厳しいという考えは強固である。
- 今までと同様、目標はクリアし増収しておきながら会社から出る最大限の努力をする。
- 4月の決算は、目標はクリアしたが収入は昨年より減った。4月のゴールデンウィーク期間が飛び石だった影響もあり運送の乗りかたが厳しく、前年度よりも下回った。他社が使徒増というところもあり、運休や旅行使用などないとの対応なし。そのことを申し送りしながら経営を維持し、利益と4,000万円の増収となった。収入が下がったが現場の社員の努力があったからこそであり、そうしたことも考慮し最大限の回答をしたい。

各職場要員不足の中、奮闘している組合員・社員に報いるべく満額回答を強く求める!

ステーションサービス LINE No. 247 発行 2025. 6. 4 東日本旅客鉄道労働組合 ステーションサービス協議会

申4号「2025年度夏季手当等に関する申し入れ、第1回交渉を行う!」

2024年度期末決算 営業収益は前年比102.7%の増収!

単位	百万円	2023年度	2024年度	増減	増減率	2025年度	増減	増減率
		実績	実績	金額	%	予定	金額	%
		A	B/A×100			C	C/B×100	
J	営業収益	16,494	16,934	439	102.7	17,403	468	102.8
E	売上総利益	1,842	1,841	-1	99.8	1,840	-18	101.0
S	営業利益	187	54	-132	29.1	75	-20	137.1
S	当期純利益	176	77	-99	43.9	92	14	118.6

団体交渉の前に、夏季手当に対するアンケートを実施!
皆様の声を伝えることができました! ありがとうございます!!

職場の声・労働実態

- 一人が足りない! 業務の増やせすぎ!
- 一人勤務の負担が大きい!
- 勤務実態や業務が実質的に発生することが多く、私生活にも影響を及ぼしている!
- 毎日、忙しすぎて業務対応を怠っているような状態で、モチベーションが上がらない!
- 一人勤務の体質が、実質労働時間になっている!
- 主働場の増員(給付)の方が、主働場勤務よりも多い!

会社の見解
皆さんの労務には感謝します。

組合側からの主張に会社は、「現場でご尽力頂いていることに感謝」をしつつも、何事も「しっかりと受け止めて頂き、検討したい」と回答しました。

【バス関東本部】 【バス東北本部】

- 満額獲得に向けてアンケートを取り組み、交渉の場へぶつけてきた。業績が好調なのは、要員不足の中、助勤や休日勤務で対応する現場の努力によるものだ! 本体の顔色ばかり伺わず、現場の努力を直視すべき!
- 物価上昇により、一時金が生活給の一部になっている現実から、現場は満額回答に期待している!
- 人材流出防止の観点からも、満額回答で人材を定着させるべきだ!

【ステーションサービス協議会】

- アンケートを行い、組合員の声を会社に届けた。要員不足が原因で仕事量が見合わない。特に一人勤務駅の負担が大き過ぎる!
- 毎日が異常時対応をしているような状態でモチベーションが上がらない!
- 営業収益、対前年を上回っているのは現場の努力によるものだ! しっかり受け止めるならば満額回答を!

職場からのたたかいと全国からの連帯で 会社の慎重姿勢を突破し満額回答を勝ち取ろう!

